

# コロナ破綻 累計 7272 件

## 年間件数既に昨年上回る

### 東京商工リサーチ

東京商工リサーチは2日、9月の新型コロナウイルス関連の経営破綻（負債1000万円以上、9月29日現在）が2334件判明し、全国で累計7272件に達したことを発表しました。

2023年の累計は9月までで2429件となり、22年の年間件数2282件を下回りました。

全国の累計を都道府県別に見ると、東京都が1463件と全体の2割強を占め

ました。以下、大阪府（713件）、福岡県（384件）、愛知県（381件）、兵庫県（319件）、神奈川県（312件）の6都府県が300件を超えました。

業種別では飲食業が1175件で最多でした。コロナ禍での来店客減少に加え、食材や光熱費の高騰で、赤字は戻っても売り上げの回復に至らず、経営体力の消耗による破綻が多くありました。工事計画の見直しなどの影響を受けた建設業（884件）、小売店の休

業が影響したアパレル関連（513件）が上位でした。東京商工リサーチはコロナ関連破綻の動向について、9月の件数が今年最少

だった一方、コロナ関連融資の返済資金が確保できずに事業継続を断念するケースが増加していることから「一進一退が続いている」としています。